

第3回めいほう協議会議事録

日時： 令和8年3月23日（月） 14:30～15:45

場所： 大教室

出席者： めいほう協議会委員5名、副校長、教頭、グループリーダー

(1) 会長挨拶

- ・ 学校評価報告書からは、課題はあるものの教育活動が着実に遂行されている様子が伺える。資料や報告を受けて活発な意見をいただきたい。

(2) 副校長挨拶

- ・ 3月12日に卒業式を挙行し、134名が卒業した。
- ・ 次年度入学予定者は209名。午前部はほぼ定員に達し、在県外国人等特別募集の定員枠の拡大に伴い、例年より外国につながるの入学予定者が増加することとなった。
- ・ 今後も周囲の支援をいただきながら教育活動に尽力したい。

(3) 各グループリーダーからの報告

① 地域連携部会より

- ・ 部活動加入率は28%。4部活動が全国大会に出場した。
- ・ 運動部が「かながわ部活ドリーム大賞」を受賞した。
- ・ 1年次生を中心にボランティアへ参加した。小学校でのSNS講座がメディアに取材される等の成果があった。
- ・ 部活動・ボランティアともに、参加者の定着が今後の課題である。
- ・ 外国につながるの生徒の増加に伴い、「あーすぷらざ」見学会等の支援を継続する。

- ・行政書士相談会も毎年参加しているが、保護者の参加を促し、在留資格等への理解と進路意識の醸成を図りたい。

② 安全防災部会より

- ・今年度の特別指導は、数字としては1.5倍に増えているが、学校周辺を巡回する中で喫煙等の問題行動を発見していることが、数字として表れている。
- ・外部機関を活用した生徒支援事例は見られたが、支援事例の校内共有が次年度の課題である。
- ・社会情勢を踏まえ、規範意識の指導と支援の視点から、生徒指導に取り組んでいく。
- ・次年度、体育館屋根工事や太陽光パネル設置が予定されているため、生徒の安全面を確保していく。
- ・本校の施設を貸すことが増えているので、備品も整備していきたい。
- ・図書室の利用の活性化が図られている。

③ 学習・キャリア支援部会より

- ・教育課程については、一部見直しを実施した。学習面において、生徒からのICTを活用したい、グループ学習に取り組んでほしいというニーズを踏まえて授業改善に取り組んだ結果、授業アンケートは目標値を上回る評価を得た。
- ・進路指導では、大学受験や就職で苦戦した生徒もいた。総合的な探究の時間のプログラムと各教科の連携を深め、指導を充実させたい。
- ・進路決定はゴールではなくスタートであるという意識を持たせていく実践が必要である。

(4) 報告についての質疑応答等

(質問) 外国につながるのがある生徒はどのような外部機関を活用しているか。

(回答) 主にあーすぷらざを利用しているが、生徒の状況に応じて多文化教育コーディネーターに相談して、必要な支援を得られるよう努めている。

(質問) 職員研修はどのようなことを実施しているか。

(回答) 今年度はインターネットによる人権侵害について職員研修を実施した。

(感想) 卒業生の保護者として、手厚い進路指導に感謝している。

(5) 総合評価

- ・ 数値目標の達成や各種取り組みは総じて十分に評価できる。
- ・ ルールの遵守だけでなく意義を考える指導が重要である。施設修繕も継続してほしい。
- ・ 地域ボランティア等を通じて、今後も地域と横浜明朋高校との連携を深めていきたい。
- ・ 行事等での生徒のいきいきとした表情が印象的であった。一人ひとりに寄り添う指導を継続していただきたい。
- ・ 地域との交流も引き続き実施して行ってほしい。

(6) 副校長より(まとめ)

- ・ 挙げられた課題に取り組み、校種間連携を深めたい。工事中の施設利用協力に感謝申し上げる。来年度もぜひご協力いただきたい。